

令和2年度第2回（第50回） 浜田市行財政改革推進委員会 会議録

日時 令和2年10月27日（火）13時30分～14時55分

場所 浜田市役所西分庁舎1階 浜田公民館研修室

[進行／行財政改革推進課長、光延会長]

開会（13:30）	
行財政改革推進課長	<p>定刻になりましたので、只今から令和2年度第2回浜田市行財政改革推進委員会を開会します。委員の皆様には、お忙しい中ご出席いただき、ありがとうございます。</p> <p>はじめに、本日出席されている皆さまの体調について公民館に報告する必要がございますので、確認させていただきたいと思います。体調が優れない方は挙手をお願いいたします。</p> <p>（挙手なし）</p> <p>ありがとうございました。それでは進行を続けます。</p> <p>この会議は、公開で行いますのでご承知おき願います。</p> <p>開会に当たり、光延会長からご挨拶をお願いします。</p>
1 あいさつ	
会長	<p>こんにちは。前回の会議から何か月か経ちました。秋になりいくつか気になったことがあります。GOTOキャンペーンをやっています。人通りが戻りつつあると、活気強さを感じます。それと私事ですが、前回もご紹介したと思いますが、4月以降、毎日熱を測ることにしています。今日も測ってきました。朝7時に35.9度で今日も合格かなと思っております。一度習慣化するとそう苦にもならず、1日1回測らないと落ち着かないようになってきました。コロナ禍の環境に慣れつつあるのかなと思ったりしています。</p> <p>今日は、協議事項が1点あるようですので、審議を進めてまいりたいと思います。</p>
行財政改革推進課長	<p>ありがとうございました。続きまして、本日の資料を確認させていただきます。</p> <p>本日、お手元に、レジュメと出席者名簿をお配りしています。また、先般事前送付しました公共施設再配置実施計画【別冊（令和2年度版）】（案）、参考資料1の浜田市公共施設の状況、参考資料2の浜田市公共施設方針一覧をご持参いただけましたでしょうか。資料があるかご確認ください。</p> <p>次に、本日の欠席者をお知らせします。</p> <p>レジュメをめくっていただき、1ページの「浜田市行財政改革推進委員会委員名簿」をご覧ください。久保田委員、齋藤耕二委員、渡邊委員が所用のため欠席されています。新田委員につきましては遅参という連絡を受けておりますので、あわせてお知らせいたします。</p> <p>市職員につきましては、2ページに「浜田市行財政改革推進本部幹事名簿」を掲載しています。本日は、教育長、財政課長が欠席です。</p>

	<p>次に、前回ご紹介しました新任の委員3名のうち、名簿13番の旭自治区地域協議会会長の塚崎委員が所用のためご欠席されていまして、本日、一言ご挨拶をお願いしたいと思います。</p> <p>塚崎委員様、お願いいたします。</p>
塚崎委員	<p>失礼します。前回欠席させていただきました。遅くなりましたが、旭自治区の地域協議会から推薦されてまいりました。前回欠席をして様子は分かりませんが、何分よろしくお願いいたします。</p>
行財政改革推進課長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それではここで、前回の会議の内容と本日の協議内容を確認いただきます。前回は7月10日に、行財政改革実施計画令和元年度実績及び令和2年度計画（案）についてご意見をいただき、最終的に9月議会で報告した後、確定版を郵送させていただいております。</p> <p>本日は、「公共施設再配置実施計画 別冊（令和2年度版）（案）」についてご協議いただきたいと思います。</p> <p>会議の終了は15時を予定しておりますので、よろしく申し上げます。</p> <p>それでは、以降の議事進行は光延会長にお願いいたします。</p>
2 協議事項 (1) 公共施設再配置実施計画 別冊（令和2年度版）（案）について	
会長	<p>それでは、協議事項(1)に移ります。</p> <p>「公共施設再配置実施計画 別冊（令和2年度版）（案）」について、事務局から説明をお願いします。</p>
行革推進係長	<p>「公共施設再配置実施計画 別冊（令和2年度版）（案）」について説明いたします。</p> <p>（別冊（案）、参考資料1、参考資料2の見方、主な項目について説明）</p>
会長	<p>それでは、皆様方からご意見やご質問がありましたら、挙手をお願いします。</p>
大谷委員	<p>確認をさせていただきたいのですが、この実施計画の15～16ページの幼稚園関係について、目標時期が令和3年度から時期未定となっています。市のホームページを見ると長浜1か所に統合で令和5年度と目標が出ていますが、この資料はまだ修正しないということでしょうか。</p>
健康福祉部長	<p>公表は10月26日ですので、この資料には間に合っておりません。今後、4園を1つにという方向で説明を進めていきますので、それを反映させていきたいと思っています。</p>
大谷委員	<p>方針は確定したということですか。</p>
健康福祉部長	<p>方針（案）を提案中ですので、確定ではありません。</p>
豊田委員	<p>廃止という事業が多いのですが、廃止された後、どのような使われ方をするのかお聞きしたいです。管理する人がいないけれど自由に使えるものなのか、取壊し費用が追加でかかるものなのか、どのような取扱いなのか確認させてください。</p>
行革推進係長	<p>施設の後利用につきましては、学校等のように色々検討が進むものもありますが、基本的な考え方としましては、行政目的のある行政財産から普</p>

	通財産に変わりますので、その後、売却、遊休資産を処分する方向で検討することとしています。
豊田委員	もう1点。複合施設があると思いますが、複合施設は複合化することにより便利な使い方になることが予測されると思います。複合化した後の施設利用の評価を今後考えていただいても良いかなと思っています。複合化したことによってより良くなったとか、不便になったなどの声を聞いていただきたいと思います。
行財政改革推進課長	複合化の評価につきましては、現状として1つの例になりますが、弥栄で公民館などを1つにまとめる施設を建設中です。今後の具体的な評価方法についてはまだ検討していませんが、評価は必要ではないかと考えています。
小倉委員	23ページから26ページまでの雇用促進住宅について、平成22年に国から購入した経緯があるようですが、将来更新投資額の合計が約72億円になっています。民間譲渡という計画のようですが、入居されている方がどの位おられるのか、随分古くなってきていますので、家賃の問題などそうした計画はどうなるのか、数字が大きいので気になりました。
都市建設部長	<p>まず、時期を延伸している理由について説明させていただきます。浜田市では市が労働者の住居を確保するため、平成22年度に国から譲渡を受けました。他市では国、厚生労働省から民間へ譲渡された例もあります。当初は令和2年度に譲渡先を決めて令和3年度から民間譲渡ということで動いていましたが、色々調べてみますと整理しなければならないことが沢山出てきました。例えば、底地に保安林の指定がされていて、その解除手続きには半年以上かかること、土地の境界がまだ確定されていないこと、敷地の中に赤道（里道）があることも分かりました。民間譲渡に当たり、土地の処理をきちんとしなければならないことが判明したため、処理に時間をいただかないと難しいだろうと。また、価格的部分では、単に今の価値を鑑定すべきなのか、家賃収入があるという価値の部分の評価するのか。売り方についても専門の不動産業者さんに意見を伺って、4棟一括か、2棟ずつか、あるいは1棟ずつか、検討する必要があります。</p> <p>1番大事なことは、入居者がいる状態で売却することになりますので、入居者に1番ご迷惑をお掛けしない売り方、家賃の問題、そういったことをどのように考えていくべきなのか。急な家賃上昇は非常に問題がありますので、もう少し慎重に考える必要があるということで令和3年から令和6年に延ばした経緯があります。</p>
坂東委員	<p>石央文化ホールを複合施設にするというのは具体的にどのような施設を想定されているのでしょうか。</p> <p>木田小学校はあと何年位で廃止になって、その後は売却することになるのでしょうか。</p>
旭支所長	木造の木田小学校は、平成28年度から指定管理で地域の地域を守る組織にお願いしていて、現在は木田暮らしの学校という名前になっています。

	<p>今、細々とではありますが、それなりの利活用があります。校舎そのものも大変きれいですし、体育館もまだまだ新しく、これまでを考えると、まだまだ持つだろうと思っています。若干修繕等は行っていますので、大小のものが傷むということはまだ考えていません。</p>
坂東委員	<p>まだまだ持つということで、活用されるということによろしいですか。この2～3年で廃止ということになればもったいないと思ひまして。</p>
旭支所長	<p>この2～3年は活用が少ないですが、広島の方からも来ていただいていますので、もう少しPRしながら利活用を進めたいと思います。</p>
教育部長	<p>石央文化ホールの複合化につきましては、現時点で具体的に何を複合化するという話は進めていません。現在も毎年多額の費用をかけて修繕しながら文化ホールとしての機能を維持しています。当面このままということで考えています。</p>
齋藤正美委員	<p>三隅の地域協議会の齋藤です。よろしくお願ひします。事前にいただいた資料を読むのですが、行財政改革で改革した後、その財政原資を何に使うのでしょうか。山陰浜田港公設市場の改革の話もありましたが、前々から中小零細、地域の水産物・農産物を網羅したBUYはまだ運動を何年か前から進められていると思います。地域経済の中に入っていくという政策も含めて、削減した効果をどうアウトプットで拡大していくかということがあれば、もっと分かりやすいのではないかと感じました。</p>
行財政改革推進課長	<p>行財政改革を推進して浮いたお金の活用に係るご質問と思いますが、実際には浮くという考え方はないと思っています。今の公共施設をこのまま維持するとどうしても財源が不足しますので、今後、維持するために3割削減という計画があります。財政効果については、今後、ランニングコストや改修費用に充てることになると考えています。</p>
矢野委員	<p>40、41 ページのアイススケート場について、コロナの影響で実績を見る時期、令和2年度から令和3年度までを見直すという話がありましたが、具体的な内容の所に、「今後利用者数が急激に増え、その後も継続的な利用が見込まれる場合は、見直しを検討する」とあります。これはコロナの有り無しに関わらず結構厳しい条件であり、廃止することがほぼ決定した上での話のようになっています。このように書かれているということは、利用者数を増やすための具体的な取組みをしているのか、利用者数の増減をウォッチングしているだけなのかお聞きしたいです。また、スケート場を廃止するに当たって、スケートを専門にやっている人や、少数ではありますが、アイスホッケーを専門的にやっている人もいますので、そういう人々たちに向けた配慮を何か行っているのかお聞きしたいと思ひます。</p>
教育部長	<p>サン・ビレッジ浜田については、スポーツ施設再配置整備計画の中で、基本的には令和2年度をもって用途変更、解体ではなく屋内運動場等に変更する方針が出ましたが、スケートの利用団体を含め市議会からも有効活用の方法を探るべきではないかという意見をいただいています。誘客についても具体的にアクアスとの連携について提案をいただいたり、単にスポ</p>

	<p>一ツ施設ではなくて、観光施設という位置付けもあるのではないかという意見も出ております。そういった方々から誘客をしてみたいとか、利用率の向上、時間的なものも含めて色々ご意見があったということを受けて、時間的な余裕を見ようということで2年間としています。</p> <p>オープン当初は2万人の方が来られていました。指定管理料が1千万円近くになっていますが、2万人で単純計算をすると収益の均衡が図れるのではないかという見込みで、急激という表現を使っていますが、利用者が増えれば方針の見直しも必要ではないかという言い方をしています。ただ、コロナの影響で基本的には閉館していましたが、条例上は10月10日からオープンになっていますが、今年も暑かったということで、1か月ちょっと延期して11月21日オープンにしています。冷凍機にフロンガスを使っていますので、本来は更新しないといけないのですが、それがなかなか難しいということも含めて用途変更という方針が出ています。コロナの影響配慮とオープン期間の短縮がありますので、この2年をどうずらすか、また、2万人が1万9千人だったからダメだという所までは決めていません。今後、多くの方が継続して利用される状況が見込めればということと、国の補助金制度が令和3年度からどうなるのか分かりませんので、仮に有利な補助金が使えてあまり市のお金をかけずに冷凍機を更新できることが判明すれば、そこも含めて検討していこうという状況にあります。</p>
会長	配慮についてはいかがですか。
教育部長	スケート連盟の方からは要望をいただいています。カーリングについては、直接、大会をとという話を聞いています。ホッケーについては聞いていません。ただ、利用者の方からも要望は出ているので、逆に利用者の方にももう少し利用していただきたいというお願いはしています。そういったことを含めて調整しています。
三浦委員	16ページに石見幼稚園の統廃合を目指す方針が記載されていますが、内容を読んでも浜田市がどういう形を取ろうとしているのか分からないのですが、現在、美川、長浜含めて4園ありますね。それを、幼稚園に入る児童数が少なくなるから、浜田市で1つにしようとしているのでしょうか。今、みなと保育園がやっている保育園型ではなくて、幼稚園型のような認定保育園にしようとしているのか、どういう形を取ろうとしているのか、もう少し詳しくご説明いただきたいと思います。
健康福祉部長	浜田市では統合幼稚園として1つにしたいと考えています。平成31年10月の制度改正によって3歳児以上無償化になりまして、浜田市の幼稚園の人数が激変しています。原井は休園しておりますが、美川、長浜、石見、それぞれ少ない人数でやるということではなくて、1つにしてやっていきたいということで、前向きな統合として話を進めています。
三浦委員	子どもさんが学校へ上がった時に、幼稚園で教育という視点で過ごしてきた子どもさんと、保育園で保育を目標にした課程の中で過ごしてきた子どもさんの違いが、先生方もよく分かると言われます。放課後児童クラブ

	<p>の支援員さんたちからもその声を聞いています。ですから私は、せめて 2 か所に幼稚園を残して、教育という視点での子どもの育て方を少し考える余地はないのかなと思っています。いかがでしょうか。</p>
健康福祉部長	<p>平成 30 年 4 月から教育要領や保育要領が変わりまして、幼稚園も保育園も幼児教育という形になり、保育園、幼稚園の差は、今後はなくなっていくかといけないことになっています。幼児教育ということで携わっていますので、今後、浜田市の幼稚園、保育園ともに、レベルアップしていくかといけないと思っていますところ。美川幼稚園で言いますと、3 歳児、4 歳児、5 歳児の 3 年の幼稚園になっていますが、それが 1 つのクラスになっています。今年は 8 人しか入園されていない現状もありますので、幼稚園の役員さんにも説明もさせていただいて、色々な意見はいただきましたが、今後も、説明を続けていきたいと思っています。</p>
三浦委員	<p>やはり 1 園になる方向性だと思いますが、東の方に石見幼稚園があります。1 園に統合してどのような形になるのか分かりませんが、西の方からも来やすい浜田市の良い場所に統合幼稚園ができることを願っています。その辺りの計画は何かお考えがありますか。</p>
健康福祉部長	<p>幼稚園の園児数が激変してしまっていて、新しく幼稚園を建てる場合は、施設の大きさの検討に人数の把握が必要になります。当面の間は人数把握等確認させていただくということで、園舎の大きさ、耐震性も含めて、当面の間、長浜幼稚園を使って統合幼稚園とするというご説明をさせていただいています。</p>
坂東委員	<p>意見ですが、今回、国勢調査に携わったのですが、近所に国の官舎があり、国家公務員の方が住んでおられます。昔、私の子どもたちが小さい頃には、広島や鳥取から家族でお子さんを連れて来られていましたが、今は単身が多いです。2、3 家族しかお子さんがおられません。なぜかというと、幼稚園が近くにない。学校が側がない。住民サービスも徹底していない。今から移住促進を考える時に、やはり削ってはいけないところはあまり削らないようにと私は思います。この委員会に来てこのようなことを言っただけではいけないのですが、本当に単身赴任が多いです。幼稚園も近くにあった方が来やすいですし、なければ、家族は松江に残って自分は単身で浜田というふうになるんですね。その辺りを改革しないと、移住促進の部分はあまり推進しないのではと少し思いました。逆行してしまいました。失礼しました。</p>
細川委員	<p>旧お魚センター、山陰浜田港公設市場が 11 月に改装オープンすると聞いていたのですが、どのような状況になっているのかお伺いします。</p>
産業経済部長	<p>当時は 11 月で協議を進めていましたが、その後、コロナの影響で仲買事業者の方がかなり影響を受けておられます。そういう中、11 月に向けて引っ越しができない状況が生まれてきたことが 1 つ。もう 1 つ、指定管理者が決定して、11 月から指定管理をすることになっていますが、こちらも営業活動ができなくて、商業棟の中に入るお店の方、テナントの方との交渉</p>

	<p>が進んでいない状況がありました。そのため3月までオープンを延期することになりました。3月であれば仲買事業者さんも移転できるという結論に達し、指定管理者の方も3月でしたら対応できるということで、仲買事業者、指定管理者、皆さん協力をいただきながら、3月のオープンに向けて準備しているところです。</p>
田中委員	<p>金融会の田中です。お世話になります。先ほどの幼稚園のお話もそうですが、県立浜田高校については校区が撤廃されて、校区外比率が非常に高くなってきている現状があります。先ほど話されていた幼稚園からの教育というところで、やはり浜田市でお育ちになったお子様方に浜田市内の中学校、高校に入っていただいて、教育レベルの維持、向上を図っていきべきだと改めて感じました。校区外比率には色々な要因があるかもしれませんが、分析はしておりませんが、教育レベルの維持、向上というのは引き続き必要かと思いますので、希望としてお願いしたいと思います。先ほどお話のあった西と東にバランスよく、浜田市民のご家族がきちんと通学できるように、住みやすいように、アンケートや市民の皆さんの実情を聞いて差し上げることも必要なのかなと思いましたので、ご意見とさせていただきたいと思います。</p> <p>2点目は公共施設の再配置についてですけれども、先ほども赤道があったとか、危険な建物、土壌が汚染されているもの、道路が現物の現在地と登記上でずれているもの、歴史があって火事があったとか標がなくなったものもあったと思うのですが、その辺りがしっかりされていなくて、民間譲渡する時に、非常にご苦労されることがあります。また、アスベストの項目が毎年毎年、世界的に成分が追加されて増えています。その中で古い建物を取り壊す時の費用やコストが、実は百万円単位で増えているというのが今の世の中の状況です。市民の皆さんや行政の皆さんが判断された物件で、公共性が強くて長く維持していくものと、そうではなくて、民間に譲渡したり、壊さないといけないものはスピード感を持って進めていかないと、コスト自体が増えていきます。ということはマイナスの物件がいっぱいあるということで、その点についてご意見をいただきたいと思います。</p> <p>また、維持管理物件が多いということは、その分人件費や修繕費などのランニングコストが比例してかかります。その辺りをしっかりと早め早めに現状分析をされて、吟味されて、急ぐものと、しっかりと議論して残すものと、再度もう1回確認をしていかないといけないのかなと。そうになると、今後3年間くらいで、高度衛生管理型荷捌所もできますし、浜田歴史資料館もできると思います。増設される部分を加味されていると思いますので、3割削減でもう1回建てられるとした場合には、その辺を加味して建てるべきではないかということをお願いしたいと思います。</p>
三浦委員	<p>先ほど、幼稚園を西と東に作ってはどうかという意見がありましたので、それに対するご回答をお聞きしたいです。ぜひそういった形を取っていただければいいなと思います。</p>

健康福祉部長	<p>幼稚園の西と東の話ですが、認定こども園が東にも西にもできています。市内に5つありまして、これが保育園の中にある幼稚園になっています。公立の幼稚園を西と東に配置するという意味はあるかもしれませんが、公立でなければあるということですので了解をいただきたいと思います。公立ですので、園児の人数も大事なことです。今後は認定保育園、私立の幼稚園もありますので、先ほど申し上げたように、浜田市全体で幼児教育のレベルアップを進めていきたいと思い、今回の提案をさせていただいています。</p>
地域政策部長	<p>坂東委員さんと田中委員さんに共通したことで、今、浜田に単身で来られて家族で来られないとか、来られた方が、多分、教育環境のことで留まられないことをご懸念されていると思います。実は転入転出を細かく分析していきますと、浜田から転出されていく方というのは、肌感覚でご存知のように、同伴者を伴う異動が非常に多いです。そこまでは掴んでいます。ただ、同伴者がなぜ出ていかれるのかという細かな分析はできていないところがありまして、この細かな調査をこれから始めようとしています。恐らく教育環境も一因だとは思っていますが、もしかしたら他にも要因があって、色々トータルで考えて定着のためにどういう方策を立てていくか。教育問題だけではないと思うのですが、ご指摘の点は確かにあろうかと思えますし、教育部長が答弁する内容かもしれませんが、教育レベルを維持して更に向上させていくというのは大きな課題だと思っております。</p>
三浦委員	<p>認定子ども園は保育所型ですね。幼稚園教諭の資格を持った方が配置されていますか。</p>
健康福祉部長	<p>今は保育園型の認定子ども園ということになっていますので、先ほど申し上げたように、平成30年4月からは保育園も幼児教育を実施されていますので、保育園とか幼稚園とかということではなくて、幼児教育ということで一緒にレベルアップをしていきたいと思っています。</p>
都市建設部長	<p>まず、市の行政財産で一般住宅ではない危険家屋・危険な建物についてですが、耐震性が弱い場合、引き続いて使用していくということになれば、最低限の耐震工事はしなければならないと思います。ただ、ものによってどの程度、どのくらいの期間を使うかによって色々考え方が違いますし、木造の場合、鉄筋コンクリートの場合で、全然工事費が違ってきますので、その状況に応じて検討をするべきだと思います。</p> <p>土壌汚染ですが、実際に道路を作る際に支障となる建物を解体した後、土壌の検査を実施する場合があります。必要に応じて保健所等の関係機関と相談し、土壌検査をして状況を確認することになります。</p> <p>登記のずれ、現地にあるものと登記上のものとのずれはあってはいけませんが、現実的にはよくあります。民間へ売買する際には、必ずきちんとしたもので売却しなければならないので、きちんと整理をして売却するというのを心がけています。</p> <p>アスベスト対策ですが、法に基づいてきちんと囲いをして、飛散防止をして、解体工事をしなければいけませんので、工事を積算する際には、必</p>

	<p>要な仮設工事を計上して対応しなければなりません。労働基準監督署も関係してくると思うのですが、人体に害のないように必ずきちんとやらなくてはならないと思っています。おっしゃるとおり非常に仮設費のコストが上がっています。本体の解体費以外に間接的な仮設費が莫大なものになると思っています。長く維持していくもの、そうでないものを色々勘案しながら、適切な費用、投資をするということが必要と考えます。</p>
行財政改革推進課長	<p>先ほど、廃止等が決まったものについてはスピード感を持ってというご意見をいただきました。現在の計画は令和3年度までの内容です。その辺りについては次期計画の策定の中で検討させていただきながら、引き続き内容の方も精査させていただきたいと考えています。</p>
槇岡委員	<p>行革というのは、人口減少のために対策を講じなければならない物件やハコモノが殆どで、耐用年数もあります。浜田市も行革が始まってから7年程になりますか。表向きは順調に行っている感じを受けていましたが、最近、コロナの関係で予期せぬ事態が発生し、今まで引いていたルールが必ずしも合っているとは言えず、市役所の皆さんも色々対応をしながら頑張っておられると思いますが、その時その時の状況によって対策を変更しなければならない物件も出てくると思います。多くの方々が相手の事ですので、色々な考え方も、予算的なこともあります。大方の皆さんがコロナの影響を受けていて、色々な事業や計画の殆どが中止、延期という形になり思うようにできない現状を考えてみますと、交渉にしてもすんなりいかない部分も多々あると思います。赤ちゃんからお年寄りまで、皆さん、コロナにいつどうなるかという心配を抱えながら日々頑張っていらっしゃるところです。私もこのパネルの所でお話しするのは本日が初めてで、いつまでこの状態が続くのか心配しております。先は見えておりませんが、この件について、皆さんの力を合わせて、知恵もお貸しいただきながら、頑張りたいと思っています。私の気持ちを話させていただきました。</p>
会長	<p>私から質問があります。三階山の公園が廃止になったということですが、この間、散歩をしていましたら、きれいになっておりました。更地になってどのように使うのか、売却するのか。今、どこの所有になっているのか。聞いてみたいと思いました。</p>
行革推進係長	<p>土地は複数の方から無償貸付を受けています。引き続き公園として管理します。</p>
会長	<p>分かりました。 そろそろ時間です。皆さんから活発なご意見をいただきまして参考になったと思います。議題の協議はこれで締めさせていただきたいと思います。</p>
3 その他	
会長	<p>事務局から連絡等がありましたらお願いします。</p>

事務局	<p>今後の会議予定等をお知らせさせていただきます。</p> <p>今年度につきましては、3月にもう1度開催できればと考えています。来年度は、進捗状況の協議に加えまして、令和4年度からの新たな行財政改革大綱、実施計画、第2期公共施設再配置実施計画の（案）についてご協議いただく予定としています。皆様の委員任期が、来年3月13日までとなっていますので、委員改選を行った後、3月中に1度会議を開催し、来年度、大綱（案）の策定について諮問し、皆様からご意見を頂戴したいと考えています。</p> <p>なお、委員改選の都合上、公募委員につきましては12月から募集を開始し、団体推薦等の改選手続きにつきましては、年明けから準備を進める予定として考えています。よろしくお願いたします。</p> <p>最後に事務連絡ですが、本日お越し分の交通費をお支払いする関係で、A5サイズの「移動手段等確認書」を配付しています。移動手段及び発地について該当する項目に○印を付けていただき、机の上に置いてお帰りいただければと思います。以上です。</p>
会長	最後に副市長から挨拶をお願いします。
副市長	<p>失礼いたします。本日は大変お忙しい中、ありがとうございます。貴重なご意見、活発なご意見を頂戴しました。ありがとうございます。行財政改革は、皆さんご存知のように、なかなか一朝一夕でできるものではありません。継続して取り組むものです。そういう意味でも、今、色んなご意見をいただいたことを参考にして取り組まなければならないと思っています。</p> <p>先ほど榎岡委員さんからもありましたように、今、コロナが全社会に非常に大きな影響を及ぼしています。浜田市におきましても経済など非常に大きな影響を及ぼしています。コロナ対策については、国からの支援や浜田市が持っているふるさと寄附等を使いながら対応させていただいていますが、来年度以降、税の減収など財政への色んな影響も考えるところです。その辺りも踏まえて、更なる行財政改革を進めなければならないと思っています。</p> <p>本日は、公共施設の再配置ということでご説明させていただきました。浜田市は500以上の公共施設を持っており、老朽化すると建替え等多額の経費を要します。そういうことから浜田市の財政運営上3割を削減しないと施設の維持ができないということで、皆様からご意見をいただきながら、特に重複したものや利用率の低いものについては、改修するなり、譲渡することで、限られた施設を有効に維持することで進めています。特に今日、幼稚園の統合について色々ご意見をいただきました。元々は原井幼稚園と石見幼稚園を統合して新設の幼稚園を作るということで進めていました。しなしながら、民間の幼稚園もありますし、保育園も認定こども園として幼稚園教育に関わっていただいております。毎年子どもさんの入園状況を見ますと、民間の保育園は増えていますが、浜田市の公立幼稚園は減少してい</p>

ます。したがって、子育てをされている市民の皆さんは、民間の子ども園等へ入園させたいというご要望が多いのかと思います。ただ、浜田市の幼稚園は4園で、そのうち原井幼稚園は休園をしています。美川幼稚園も3クラスの合計が8人で、10人以下が2年以上続くと休園というルールを作っていますので、今後どうなるか分かりません。現在、美川幼稚園の8人のうち、地元の方が2人、それ以外の方が6人という状況です。石見幼稚園はそれなりの園児数がおられますが、施設が大変老朽化し危険な状況になっています。そういうことを踏まえまして、4園を統合する方針としています。公立幼稚園では給食、延長保育、預かり保育がありませんので、統合に当たっては、そういうこともきちんと対応して、皆さんのニーズに応えられるような幼稚園として、なんとか維持したいという思いを持っています。詳細については改めてご説明することになるかと思いますが、市としての公立幼稚園の必要性、意義をしっかりと踏まえたものを作りたいと思っています。

スケート場については、スポーツ審議会の方では廃止という答申をいただいて、その説明をさせていただきましたが、利用者の方や多くの方から存続してほしいというご要望をいただいています。これも維持にかなりの経費がかかっていますし、冷凍機の更新に1億円余りの投資がまた必要になるということで、今回、利用率が上がるのであればもう1度検討するというので、基本的には廃止という方針を出しています。今、コロナの関係で利用者を増やすことがなかなか難しい状況ですので、これが落ち着いた後に、もう1度皆さんと協議をさせていただいて方向性を出したいと思っています。

それ以外の施設についても統廃合や廃止等も含めて市民の皆様にも色々な痛みを感じていただくことになるかもしれませんが、健全な浜田市の財政運営、特に福祉や教育、先ほど来ありました他の市町から浜田市に家族を連れて行きたくないということにならないように、色々な面で浜田市に住んで良かったと思っていただけるような取り組みをしなければいけないと思います。そういった面からも今日いただいた意見をしっかりと頭に置きながら今後も進めてまいりたいと思います。

本日ご出席の委員の皆様方には、来年3月13日までが任期となっております。まだ2年経ってはおりませんが、本当に皆さん、大変お世話になりました。年度変わりましても新しい委員には引き続きお世話になります。本日は誠にありがとうございました。

会長

以上をもちまして浜田市行財政改革推進委員会を終了します。  
長時間にわたりご審議いただき、ありがとうございました。

(午後2時55分終了)